

■支倉常長 武将, 伊達政宗家臣。討幕の意受け、慶長遣欧使節正使となり、ローマ教皇に謁見するも報われず。

はせくらつねなが

比叡山焼討・1571＝ 米沢城主伊達輝宗の家臣の子として生れた。正式な名は六右衛門長経。

室町幕府滅亡1573＝ 2歳：

安土楽市楽座1577＝ 6歳：伯父支倉時宗の養子になる。

石山合戦終・1580＝ 9歳：

本能寺の変・1582＝11歳：

・・・・・・1589＝18歳：

秀吉全国統一1590＝19歳：

土農工商公布1591＝20歳： 葛西大崎一揆の宮崎攻撃の時、伊達政宗の使者となり、
文禄の役・ 1592＝21歳： 朝鮮の役に際しては、政宗とともに朝鮮に渡り軍功を立てた。
帰国後、胆沢郡内と賀美郡内に領地を賜る。

26聖人殉教・1596＝25歳： 養父時宗に二子が誕生したため、命により、柴田郡支倉村に600石を分与されて分家、支倉姓を名のる。

豊臣秀吉没・1598＝27歳：

関ヶ原の戦・1600＝29歳： 九戸政実の反乱の際には、敵方に送り込まれて、情報収集をする。

この頃、徳川家康は金銀の採鉱・精錬技術導入などのため、メキシコとの通商をしきりに望んでいたが、キリシタン弾圧のためうまく行かないでいた。

家康駿府退隠1607＝36歳：

スペインと結託して討幕を図ろうとした伊達政宗の命をうけて、

支倉常長渡欧1613＝42歳： *フランシスコ会士ソテロほか180余人とともに派遣され、「サン・ファン・パウチスタ号」で出発。

大坂冬の陣・1614＝43歳： 1メキシコに到着し、さらに随員二十数名とともにスペインへ渡る。

大坂夏の陣・1615＝44歳： *スペイン国王フェリペ3世に謁見し、通商開設と宣教師派遣を要望する政宗の書状と協定条項を奏呈した。
スペイン側からはキリシタン弾圧の国からの使者ということで冷遇されたが、市内の修道院で国王臨席の下に受洗し、ドン・フェリペ・フランシスコの洗礼名を受けた。一行はさらにローマに赴き、教皇パウルス5世と謁見し、政宗の書状をささげた。ローマで支倉および随員7名は元老院から公民権を授与された。

徳川家康没・1616＝45歳： 1ローマを出発して、再びスペインに戻ったが、政宗の提案はスペイン政府に承認されず、

吉原遊郭始・1617＝46歳： *滞在を続けていたが、ついに国外退去を命じられ、出国。メキシコを経て、

・・・・・・1618＝47歳： 1フィリピンのマニラに2年近く滞在したのち、

支倉常長帰国1620＝49歳： *失意のまま帰国した。

元和殉教・1622＝51歳： 1禁教令下、隠棲を余儀なくされ、

没した。